



沿岸域の環境再生・創出とサステナビリティ研究

[キーワード: 水質浄化、津波防災] 講師 山中亮一

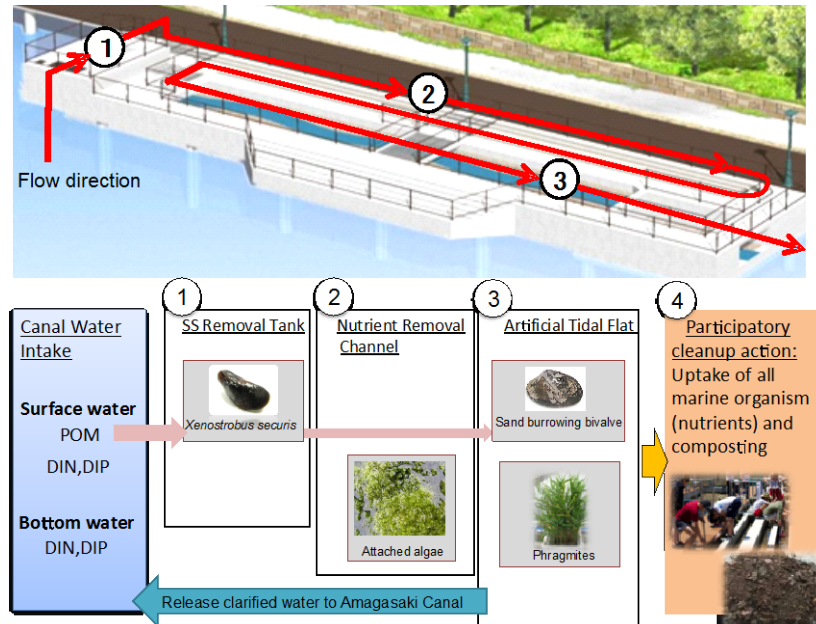


図1 尼崎運河の市民協働に基づく生物浄化技術のフロー

内容:

沿岸域の環境再生・創出と持続的な発展(サステナビリティ)に関する研究を行っている。とくに汚濁が著しい海域について、次の手法に基づき研究を行っている。

- ・水質・底質の化学分析
- ・流動・流速計測と海洋学・海岸工学に基づくデータ解析
- ・海洋生物の生態調査と物質循環機能の定量化
- ・エコ・コミュニティづくりの実践(コミュニティデザイン)
- ・数値シミュレーションによる環境動態予測、特に流動・水質・生態系モデル
- ・津波による被害予測(人的・環境)
- ・生態系サービス評価
- ・環境・防災教育の教材づくりと実践

図1は、尼崎運河にて実現した水質浄化技術の一例であり、生物浄化と市民協働を組み合わせたシステムを実現し、コミュニティに参画・協働することで持続させている。

分野: 環境工学

専門: 環境創生学、環境水理学

E-mail: ryoichi_yamanaka@tokushima-u.ac.jp

Tel. +81-88-656-7334

